

令和3年度当初予算編成における調製方針

令和2年12月2日

市長

1 国の動向と地方財政の状況

我が国の新型コロナウイルス感染症拡大による経済への影響は、これまでに経験したことのない、正に国難とも言うべき局面に直面しており、予断を許さない状況が続いております。

国においては、景気をデフレに戻さずに、国民の雇用を守り抜くことを最優先とするほか、コロナ対策として経済の動向、国民生活への影響を注意深く見極めつつ、臨機応変に、かつ、時機を逸することなく対応するとされております。また、今までの生活様式が、密を避ける行動やビジネス形態の変化など、新しい生活様式へ移行していることを踏まえ、「新たな日常」の実現に向けた取組を更に加速させていくとしております。

地方においては、新型コロナウイルス感染症拡大への対応と地域経済の活性化の両立を図りつつ、「新たな日常」の実現に取り組むとともに、激甚化・頻発化する災害への対応のための防災・減災、国土強靱化対策を推進することとしております。また、東京一極集中の是正を行い、地域社会の活性化に向けた地方創生についても引き続き推進することとしております。

こうした中、国は、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額について、令和2年度の地方財政計画と同水準を確保するとしております。しかしながら、一般財源の根幹となる地方税等については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がある中、大幅な減収が見込まれ、その規模など見通しが立っておらず、今後の地方財政を取り巻く環境としては、これまでになく不透明な状況にあります。

2 本市財政状況と今後の見通し

本市の財政状況につきましては、歳入では、市税等について、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響で大きく減少することに加え、人口減少や高齢化の影響により、一般財源の確保において例年にも増して厳しい状況にあります。

一方、歳出では、公債費について、過去の大型建設事業に係る償還の本格化に伴い、大きく増加するとともに、社会保障関連経費や老朽化した施設の維持補修費などは引き続き増加が見込まれています。また、新型コロナウイルス感染症対策として、新たな行政需要も生じており、予算編成においては大幅な財源不足が予測されているところで

こうした中、一定水準の市民サービスは維持しつつ、将来にわたり持続可能な行財政運営基盤を確立するためには、自主財源の確保や経費の節減に努め、歳出改革を中心とした更なる行財政改革の推進により、早期に歳入規模に見合った歳出構造に転換することが求められています。

3 予算編成の基本的な考え方

このような状況を踏まえ、歳入の確保及び歳出の節減に最大限の努力をすることとし、効果的で効率的な事業の在り方について、各部内で創意工夫を図るとともに、事務事業の見直しに努め、これまで以上に「選択と集中」を徹底した上で、予算要求をしてください。

その上で、令和3年度予算編成における基本的な考え方は以下のとおりとします。

なお、令和3年度当初予算はいわゆる「骨格予算」となるため、経常的経費が中心となりますが、予算編成作業においては、通年の予算見積りを行うことといたします。ただし、新規の政策的経費等につきましては、骨格予算の性格上、当初予算への計上を見送ることもありますので留意してください。

① 基本的な取組

全ての事業の効果や手法等を再点検し、市民との連携・協働、制度や仕組みの改善・創設などあらゆる創意工夫に加え、各事業については、効率的かつ効果的な実施に努めるとともに、事業のスクラップ・アンド・ビルドの徹底により、所期の目的を達成した事業や成果が上がっていない事業、必要性が低下した事業は、事業全体を検証し、多様化する行政ニーズに伴う新たな事業を実施していくため、廃止や縮小を徹底することを求めます。

② 主要事業

令和3年度は、「協創によるまちづくり」の理念のもと、第二次山陽小野田市総合計画の前期基本計画に掲げる重点プロジェクトに係る事業、「スマイルエイジング」に繋がる事業、防災・減災対策に資する事業及び新型コロナウイルス感染症対策として新たな生活様式を踏まえた事業を優先的に実施していくこととします。